

大内駐在所だより

令和7年6月号
那珂川警察署大内駐在所
TEL 0287-92-2429

水難事故・梅雨期の災害について

6月に入り気温も上昇し、釣り、川遊び、河川敷でのバーベキュー、登山、ハイキング等が楽しい季節になってきましたね。水難事故・梅雨期の災害には十分注意して、下記のことを守りましょう！

注意ポイント

- ①降雨時・降雨後・増水時には川に入らない。
- ②自分自身の体力・経験は過信しない。
- ③単独行動ではなく、複数人で行動する。
- ④行先・帰宅予定時間を家族に伝えておく。
- ⑤子供を1人にする事なく、絶対に目を離さない。
- ⑥山や川の事故を防止するため悪天候・体調不良の場合は無理せず引き返す。
- ⑦災害が発生した時、落ち着いて行動ができるよう心構え・準備をしておく。



車上狙いに注意！

鮎釣りの解禁に伴い、河川敷や空地等に駐車している釣り人の車を狙った車上狙いの発生が予想されます。被害を未然に防ぐため下記の被害防止ポイントを参考にして下さい。

※ 被害防止ポイント

- 車から少しでも離れる際は、エンジンを切って必ず施錠する。
- 車の中に貴重品を置いたままにしない。
- 不審者・不審車両を見かけたら、110番または、警察署等に連絡する。



ヘッドライトの正しい活用

夜間走行時には、ヘッドライトの上向き・下向きを状況に応じて使い分けましょう。

上向きだと約100メートル先まで照らすことができますが、下向きだと約40メートル先までしか照らすことができません。

歩行者や自転車、落下物、道路の異常などを早期に発見し、事故の防止をしましょう！

高齢者による事故が多発

高齢になると、注意力・集中力・判断力といった運動能力、危険回避力が誰でも低下してきます。

もし自分の運転に少しでも不安を感じたら、運転免許証の自主返納を検討しましょう。

また、家族で話し合う機会をつくり、高齢者による事故が多いことを理解しましょう。

熱中症について

熱中症は気温や湿度が高いなどの環境下で、体温調節の機能がうまく働かず、体内に熱がこもってしまうことで起こります。

小さな子どもや高齢者、病気の方などは特に熱中症になりやすいため注意が必要です。

熱中症にならないために

- ・暑さを避ける
- ・服装を工夫する
- ・こまめに水分・塩分を補給する

などの対策をしっかり行いましょう。

